



ききみみずきん

平成26年夏号 Vol.8

＜発行・編集＞喜多方市立図書館
 指定管理者 株式会社 図書館流通センター
 〒966-0822 喜多方市字柳原7503-1
 TEL:0241-22-1855

●<http://tosyokan.city.kitakata.fukushima.jp/>

7月～9月の図書館スケジュール 平日9:30～19:00 土日祝日9:30～17:30

7月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 ☆
6 ☆	7	8	9	10	11	12
13 ☆	14	15	16	17 ♡	18	19
20 ☆	21	22	23	24	25	26 ☆
27 ☆	28	29	30	31		

8月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3 ☆	4	5	6	7	8	9
10 ☆	11	12 ☆	13 ☆	14 ☆	15 ☆	16 ☆
17 ☆	18	19	20	21 ♡	22	23 ☆
24/31 ☆	25	26	27	28	29	30 ✧

9月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7 ☆	8	9	10	11	12	13 🎵
14 ☆	15	16	17	18 ♡	19	20
21 ☆	22	23	24	25	26	27 ✧
28 ☆	29	30 🎵	図書館のタベ (16:00～17:30)			

休館日

おはなしドライブ(11:00～11:30)

♡ ちっちゃなおはなしかい(11:00～11:20)

✧ ユニットおりがみ教室(10:00～11:30)

☆ その他の催し物(7月、8月は裏面をご覧ください)

図書館からのお知らせ

図書館でボランティアを始めてみませんか？



喜多方市立図書館では、ご利用のみなさまにとってより使いやすく、身近な図書館であることを目指して、個人ボランティアを募集しています。みなさんの時間と力を図書館で活かしてみませんか？

★活動内容★

資料配架ボランティア

→ みなさんが読みたい本を探しやすくするために、書架の整理をお手伝いしていただく作業です。



★応募資格★

中学生以上の方でしたら、どなたでもご応募いただけます。

★その他★

- ① 活動に対する謝礼や交通費等の支給はありません。
- ② 活動に際して、ボランティア保険に加入していただきます。(保険料は、図書館が負担します。)

＜ボランティア活動者Tさんのご意見＞

地道な作業だけど、棚がきれいに整うことが喜び。また、小さな子どもが来て、「こころうさま」と声をかけてくれたことが嬉しかった。一緒に図書館でボランティアをする仲間がほしい！

＜ボランティア活動者Hさんのご意見＞

団体でボランティアに参加すると、都合を合わせなければならず大変だが、個人だと自分の都合に合わせて気軽に参加できるのが良い。利用者の方の役に立っている事がなによりの喜び！

まずは、お気軽に図書館へお問い合わせください。

喜多方市立図書館 ☎ : 0241-22-1855

かわら版

たなばたフェスタのご案内

7月・8月の期間を「たなばたフェスタ」と名付け、さまざまな催し物を開催しています。

大人も子どもも図書館で楽しいひとときを過ごしてほしい—。

図書館がコミュニティの場となりますように—。

図書館スタッフはそういった思いを込めて取り組んでいます。

第51回 ユニットおりがみ教室 特別版



平成26年7月5日(土) 10:00~12:00

対象者 : ユニットおりがみに興味のある方

講師名 : 五十嵐 智洋 先生

参加費 : 無料 (※申込不要)

毎月最終土曜日に開催している大人気教室「ユニットおりがみ教室」の特別版！
7月19日(土)、20日(日)にふれあい通り商店街で開催される「レトロ横丁」に
出品する笹飾りを作りましょう。

第3回 楽しい手作り絵本教室

(1回目) 平成26年7月13日(日) 13:30~15:00

(2回目) 平成26年7月27日(日) //

対象者 : 小学4年生以上で、2回とも参加できる方

講師名 : 小澤 純子 先生

参加費 : 400円(1回目参加時にご用意ください)

申込締切 : 平成26年7月12日(土)まで、図書館カウンター
またはお電話でお申込みください。

世界で1冊だけの絵本をつくりましょう。創作おはなしの他にも、お子さんの
成長記や旅の思い出を綴ったアルバムなど、ストーリーはあなた次第！



リサイクルブックフェア



平成26年8月23日(土)、8月24日(日) 9:30~17:00

資源の有効活用を図ることを目的として、図書館で除籍した
本・雑誌や、市民の方からいただいた本を無料でお譲りします。

※冊数制限はありませんが、段ボール等の入れ物は各自ご準備ください。

<リサイクル本を募集します！>

リサイクルブックフェアに提供していただける本がございましたら、図書館カウンターまでお持ちください。
ただし、お名前などの個人情報が記入されている本は受け取ることができませんのでご了承ください。



お子さんやお孫さんと
一緒にどうぞ♪

<ぬいぐるみのおとまりかい>

平成26年7月26日(土) おとまりの日

7月27日(日) おむかえの日

子どもが大切にしているぬいぐるみを一晩預かり、
夜の図書館を探検したり、本を読んだりする様子を
写真に収め、翌日迎えに来ていただきます。
ぬいぐるみを通して図書館や本に親しみを持って
いただく取り組みです。

<おはなしカーニバル>

平成26年7月27日(日) 11:00~12:00

毎週日曜日開催「おはなしドライブ」のスペシャル版。
絵本の読み聞かせや紙芝居、工作などをを行います。

<宿題かけこみ寺>

平成26年8月12日(火)~8月17日(日)

自由研究、読書感想文等の相談を図書館長が引き受け
ます！ただし、答えではなくヒントだけお教えします。

新着図書おすすめラインナップ！



『曲り角のその先に 村岡花子エッセイ集』

村岡 花子／著
河出書房新社 2014・4(914 ム)



平成26年度前期連続テレビ小説「花子とアン」の主人公・村岡花子。「赤毛のアン」の翻訳者として今もお日本の少女たちの心に力強いメッセージを送り続けています。
美しい日本語でかかれた明日への勇気と希望にみちたエッセイ集。
ドラマの次は作品から村岡花子に触れてみませんか？



『ムーミンを生んだ芸術家 トーヴェ・ヤンソン』

富原 真弓／著
芸術新潮編集部／編
新潮社 2014・4(949 ト)

2014年はムーミンの生みの親、トーヴェ・ヤンソン生誕100周年にあたり、世界各地でイベントが開かれています。
芸術家トーヴェ・ヤンソンの多彩な創作世界を案内するとともに、アトリエや毎夏を過ごしたクルーヴ島など、ヤンソンゆかりのフィンランドの地をめぐるります。

『アフターガーデニングを 楽しむバラ庭づくり』

元木 はるみ／著
家の光協会 2014・5(627 モ)



庭づくりのコツや農薬に頼らずバラを丈夫に育てるコツが紹介されています。
そして、バラの美しさを目で楽しんだ後は花びらを摘んで、ポップやお茶、お菓子にしてみましょう♪
バラを育てる楽しみがぐっと広がる1冊です。



『絶対行きたい！日本の島旅』

加藤 庸二／著
PHP研究所 2014・5(291 カ)

伝説や神々が息づく島、異国情緒あふれる島、日本の原風景が残る島…
40年かけて日本の有人島をすべて訪ね歩いた写真家が、美しい自然や島での行事、伝統文化に触れるとっておきの島旅へご案内します。
豊富な写真を眺めているだけでも楽しいですよ♪

こちらも新着！

- *『東京自叙伝』(Fオ) 奥泉 光／著 集英社 2014・5
- *『女のいない男たち』(F ム) 村上 春樹／著 文藝春秋 2014・4
- *『くもりときどき晴レル』(F イ) 岩瀬 成子／著 理論社 2014・2
- *『図解日本の漆工』(752 ズ) 加藤 寛／監修 東京美術 2014・4
- *『飛田さんちの卵料理』(596 ヒ) 飛田 和緒／著 文化学園文化出版局 2014・4
- *『農と言える日本人 福島発・農業の復興へ』(612 ノ) 野中 昌法／著 コモンズ 2014・4
- *『ペンギンが教えてくれた物理のはなし』(481 ワ) 渡辺 佑基／著 河出書房新社 2014・4



意外と知らない！？新着図書コーナーについて

新しい本は**毎週木曜日**に新着図書コーナーに並びます。
図書館に行っても、新しい本はほとんど貸出中で借りられない…という方！
図書館には、木曜日の午後*に*いらっしゃるのがおすすめです♪

毎週どんな本が入ったのか気になりませんか？
新刊コーナーには、新しく入った本の背表紙を複写(コピー)して貼りだしています。
気になる本が貸出中のときは、**予約**ができます。(予約は1人3冊まで)

喜多方再発見

～有形民俗文化財編～

福島県と喜多方市の有形民俗文化財にも指定されている「会津型」。
 知れば知るほど新たな魅力を発見する会津型は、喜多方市全体で守りたい貴重な文化財です。

会津型とは？

着物の生地に一つの図柄を連続模様として染め上げるための、型染めの版となるのが型紙です。

喜多方は伊勢白子(三重)、京都、江戸と並ぶ染型紙の生産地でした。
 小野寺家の彫職人によって彫られた喜多方の型紙を「会津型」と呼びます。

※図1 (喜多方の染型紙「26015 菊唐草」)



※図1

会津型の歴史

江戸時代末期の天保5年(1834年)に伊勢の型彫師が会津を訪れ、小野寺家(現・小野寺漆器店)で型紙が生産されるようになります。喜多方市は良質な和紙や型紙に必要な柿渋に恵まれ、伊勢白子にも供給していたことから、伊勢の業者とも交流がありました。明治初期ごろまで緋織りの技術がなかった東北地方では、型染めによる緋模様の衣類を着用するようになったとみられ、その一役を担ったのが、小野寺家で製造された型紙でした。緋模様が特徴の会津型で染めた反物は庶民のファッションとして栄えました。しかし西洋の技術が入ってくると、型紙を使って染める染屋の数が減少し、会津型も昭和10年(1935年)に終焉を迎えました。



(現在も型染めの体験ができる織染工房れんが)

甦った会津型

昭和59年(1984年)に小野寺家5代目のご主人から、長く蔵で眠っていた型紙を喜多方の文化と地域発展に生かしてほしいと型紙の一部が喜多方市に寄贈されます。その後、小野寺家6代目のご主人により約3万7千点の型紙と関連資料が喜多方市へ寄贈され、平成4年(1992年)に発足された会津型研究会により、調査・保存活動がおこなわれています。平成7年(1995年)には、全国から型紙関係者を招き、会津型の調査・報告をまとめた「型紙伝承フェスティバル」を喜多方プラザ及び蔵の里イベントホールで2日間にわたり開催しました。この活動により、会津型の存在は再び注目されるようになりました。デザイン性の高さや型彫師の繊細な技術が評価され、平成13年(2001年)2月喜多方市で、平成15年(2003年)3月福島県で有形民俗文化財に指定されました。現在も、会津型研究会では、会津型を知って民俗文化を再発見してもらうことを目的に伝承と活用のための活動をおこなっています。



(喜多方市立図書館2階 型紙室で保管されている様子)

取材協力:会津型研究会 冠木昭子様

【参考文献】

- 『喜多方の染型紙』 会津型研究会／編集・発行 2009(L753 キ) ・『染める 会津の技と文化』 福島県立博物館／編集・発行 1997(L069 フ)
- 『型紙伝承フェスタ報告書』 会津型紙研究会／編集 型紙伝承フェスタ実行委員会／発行 1996(L753 ア)
- 『喜多方の染型紙』 喜多方市郷土民俗館／編集 喜多方市教育委員会／発行 1994(L753 キ)
- 『喜多方の染型紙Ⅱ』 喜多方市郷土民俗館／編集 喜多方市教育委員会／編集 2000(L753 キ 2)
- 『喜多方市の文化財』 喜多方市の文化財編集委員会／編集 福島県喜多方市教育委員会／発行 1991(L709 キ)

図書館ここの話

喜多方の財産、日本の財産ともいえる「会津型」。日本の文化財である型紙について今回講座を開きました。とても奥の深いもので、ますます魅力を感じるものでした。あまりにも身近にありすぎて、知っているようで知らないことってありませんか。図書館では「郷土知る講座 ～観る・学ぶ・聴く～」と題して今後もわたしたちのふるさとに関する講座を予定しています。(館長)

【編集後記】

- * ききみずきんを作るにあたって、会津型研究会冠木昭子さんにお話をうかがいました。貴重なお話をありがとうございました。歴史が深く、魅力的な会津型を知り、こうして喜多方の文化に触れるお仕事が出来たことを幸せに感じています。(A・O)
- * 平成26年4月26日(土)に、小学生を対象とした「としょかんおしごとたいけん隊」を開催しました。普段は入ることのできない書庫の中で昭和初期の本を発見し、「こんなに古い本もあるんだ～！」と図書館のヒミツに驚きの連続でした。(E・Y)